

第13回バスまつりについて

バスの魅力に触れる「第13回バスまつり」が16日、松江市学園南1丁目のくにびきメッセであった。大小さまざまな種類のバスを使用したイベントが用意され、家族連れなど約4千人の来場者でにぎわった。

イベントはバスの利用促進につなげようと、9月20日のバスの日に合わせて一畑バス（松江市西川津町）と松江市交通局（同市平成町）が2010年から開いている。

会場には、路線バスなどを運行する5社の車両を展示。

（一畑バス・松江市交通局・石見交通・JRバス中国・東出雲観光）

出雲市と名古屋を結ぶ高速バスで8月から導入したJRバス中国（広島市）の2階建て車両を使用した試乗体験や、重量15トン、全長12メートルの大型バスを引っ張る綱引き大会。

屋外では、平田自動車教習所の教習車を使用した運転体験。松江市交通局の路線バスを使用し、運転席操作体験などを行った。コロナ禍が明けたこともあり、キッチンカー6台を出店し、大盛況で全ての店舗で完売となった。

参加者は車両の前で記念撮影したり、運転席のハンドルを握ったりしながら運転手気分を味わった。バスが好きと話した小学校1年の男児は「ハンドルがとても大きかった。運転手さんになってみたい」と笑顔をみせた。

島根県内のバス路線では運転手不足などを理由に運行本数削減や路線廃止が相次いでおり、「公共交通機関に興味を持ってもらい、将来運転手になりたい子が増えるきっかけになってほしい」と望んだ。

小学生以下無料乗車券の取組について

【内容】

小学生以下のお子様を対象に、路線バスおよび一畑電車が無料で乗車できるイベントを11月4日までの土日・祝日に開催します。対象路線は、市営バス、一畑バス、松江市のコミュニティバス、一畑電車の全路線です。

【背景】

このイベントは平成29年にスタートし、今回で6回目の開催となります。コロナ前の令和元年には367名の参加者がありましたが、去年は過去最高の2,694名の方にご参加いただきました。

【目的】

松江・出雲両市内の小学校を通じて利用券を配布し、児童に公共交通への関心を高めてもらうとともに、休日にマイカーを利用する方々に公共交通の利用を呼びかけ、鉄道・バスの利用促進を図ることを目的としています。

以上